

友

友の会だより

平成22年 1月発行

第 10 号



“き”にかかると本・ありますか？

時空を超える旅

第二回

カンボジア クメールの微笑み

とき 2月6日(土) 午後2時～3時半

ところ 中央図書館 学習支援室



皆さんは、カンボジアという国名で何を連想されますか？

クメール帝国の栄華を今に誇る密林の世界遺産、アンコールワット遺跡群？それとも慈悲に満ちた大きな観世音菩薩の顔が世にも神秘的な、“王と神の古代都市”アンコールトム？フランス文化相で作家だったアンドレ・マルローが若き頃、魅せられて盗難騒ぎまで起こした東洋のモナ・リザ（クメールの微笑）を持つバイヨン寺院？生い茂るガジュマルの根が爪のようにくい込んで自然の破壊力をまざまざと見せつけているタ・プローム寺院？

タイとベトナムとラオスに囲まれて苦難の歴史を繰り返した小国カンボジアは、内戦で同胞を百六十万とも二百とも虐殺した

と言われるポル・ポト率いるクメール・ルージュにより地雷がばらまかれ、素晴らしい文化遺産が長い間ジャングルの中に放置された悲しい過去を持ちます。

ようやく内戦もおさまり、現在は各国の協力の下、遺跡を修復する槌音が響き未来への希望に歩み始めました。

かつてマルローが冒険小説「王道」を、そして三島由紀夫が戯曲「ライオンのテラス」を執筆、報道写真家沢田教一が消息を絶つたことでも知られるカンボジアを今回はご案内します。

幾世紀かの歲月から甦った、密林の世界遺産が導く古い時代の幻想にあなたも浸ってみませんか？

古本市にご協力 ありがとうございました

「古本市」を終えて

恒例となりつつある「古本市」が、今年も去る十一月十四日に開催されました。

今回は、図書館友の会会員の皆様には、一般入場に先立ち、内覧会として、特別に先行入場を実施いたしました。大盛況で、たくさんのご来場があり、売上金は会の活動資金として大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

来年度からは、春と秋の2回開催を予定しております。

日本思想大系や文学全集など30巻を優に超える全集のご提供がありました。また、頒布されたシリーズのファイルもたくさん出品されていました。

貴重な資料「明治の出来事事典」については、教育機関に寄贈いたしました。

開催を知らなかったという方からのお問い合わせも多々あり、次回からの告知方法についての再考を感じております。



大盛況！たくさんの方にお越しいただきました。



「古本市」のお手伝いをさせていただいて、ひとつ感じたことがあります。初回購入者の利用で、その本の使命はとりあえず果たされたと理解すべきなのでしょうが、真つ新で、明らかに開かれた形跡のない本を手にして、何かしら哀れというか、かわいそうな思いを感じてしまいました。

図書館友の会の役割は、本当に必要としている方へ本をお渡しするということに尽きると思います。次回からも、本のご提供等、ご協力よろしくお願い申し上げます。

府中町屋倶楽部（旧藤井邸）での「ちひろ体験」

「いわさきちひろと母文江の武生展」の一環で、「ちひろ体験」として、府中町屋倶楽部で、市立中央図書館ボランティアが、ちひろの絵本の読み聞かせを行った。（2009.11.22～12.20）

丁寧な造りの町屋倶楽部の和室の中、大きな和紙に覆われた丸い灯が行灯のように優しく光を放ち、レトロな雰囲気醸し出していた。

市立中央図書館の蔵書の多くのちひろの絵本の中から選りすぐって、読みきかせを行った。

ほの暗いからこそ皆の息づかいが聞こえるほど肩を寄せ合い、絵本を見つめる目が輝く。ちひろの世界は、優しいぬくもりの中、ゆったりと時間が流れた。

感冒流行の折、市内の児童は土日外出を控えているようだったが、親子連れや大人グループが、ちひろ展の回遊をしている姿がちらほら見られる休日であった。

また、名古屋から、図書館学の勉強をしている大学生のグループも来福し、参加していた。図書館を通じて、いろんな方々との輪が広がるのがうれしい。

茜風

「児童文学を楽しむ会」 の受講生を募集します。



市図書館と図書館友の会は、仁愛大学の協力を得て市民講座「児童文学を楽しむ会」を開いています。

子どもの本の世界は、私たち大人にも生き方を導いてくれる作品がたくさんあります。

これまで見聞きしたことのある児童文学作品を読み解きながら、和気あいあいと楽しいおしゃべりを楽しみませんか。

講師 谷出 千代子 仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授

1月22日（金）『トムは真夜中の庭で』（フィリパ・ピアス作）からファンタジーの世界へ
3月12日（金）老人と子供の接点を描く『夏の庭（The Friends）』（湯本香樹実作）を読む
（各回とも事前に作品を読んでおくで一層楽しめます。）

時間・ 午後7時から8時45分

場所 中央図書館学習支援室

対象 中学生以上

申込・問合先 中央図書館 電話 22-0354



分かりやすく話をされる、
講師の谷出先生(第1回)

ヨーロッパの昔話「ねむり姫」再発見

去る十一月十三日、学習支援室にて、第一回目の「児童文学を楽しむ会」が開催された。

三十人という定員は、告知後数日で瞬く間にいっぱいになり、夜七時からの時間設定にもかかわらず、遠方からの受講者も、一人や二人ではなかった。

今回は、ヨーロッパの昔話「ねむり姫」に、スポットがあてられたグリムの『のばら姫』や、デイズニーの『眠りの森の女王』でお馴染みの、どちらかと言えば女子受けのお伽話である。甘美でドラマティックなこの物語が、谷出先生のメスにかかると、また様々な様相を露呈してくる。その時代の価値観や生活が、個々のディテール（Detail）に潜んでいて、登場人物や設定の必然性や現実性といったものが明らかになる。この必然性や現実性こそ、現代もお愛され続ける所以であり、子育てのエッセンスと言えよう。類話との比較もまた興味深い。こうして知的好奇心と、先生の魅力的な口調に、ぐいぐいと引き込まれていく、ジェットコースターのようなノンストップ一時間半！御歳を二度聞きしてしまうほどのエネルギーギッシユなお姿に釘付けになり机上には二十数項の細目からなる類話比較一覧表。まさに、贅沢の極み。

「ええっ！そんな講座があつたの?!」という方は、今すぐ図書館へ・・・

次回は二〇一〇年一月二十二日（金）。

フィリップ・ピアス作『トムは真夜中の庭で』イギリス児童文学の世界を是非ともご堪能あれ。

真夜中に十三時の鐘が鳴る。

門脇澄子

「先生と、とっても素敵な時間を共有できて幸せです。」

（受講者の方々のアンケートから）

第1回児童文学を楽しむ会」はとても楽しくて、時の経つのを忘れるほどでした。「机の上には資料、顔を上げると先生の笑顔。とっても素敵な時間を共有できて幸せです。」

「谷出先生には、生きる元気をいただけるので、また出席したいです。」など、次回もぜひ参加したいとの声が続出で、大好評でした。

グリム童話の「ねむりひめ」をいろいろな観点から解釈していただき、先生のお話を楽しみながら、物語の奥深さや魅力に触れることができた、という発見や感動も多く記されていました。児童文学は、子どもを大人へと成長させてくれるものであることを再認識したという声もありました。

交流時には、読み聞かせにはどんな本がよいかなどの質問にも、先生の考えを教えていただき、大きな収穫でした。

会終了後も、児童文学に関心がある方々や、読み聞かせに携わっている方々が久しぶりに集い、笑顔で交流の花が咲いていました。和気あいあいと楽しい雰囲気の中になりましたこと喜んでおります。

会を重ねるごとに、先生と受講者の方々との交流が深まり、益々楽しく実り多い会になることを願っています。

茜風

阿修羅拝観

興福寺特別公開

建立 天平六年(七三四)

〜一三〇〇年の時を超えて〜

霜月中旬、奈良駅に降り立つ。興福寺まで徒歩十分余、古都の紅葉が目にしみる。

五重塔の下、長蛇の列に並ぶこと三時間。

いよいよ阿修羅との対面するとき。私は思わず息をのんだ。それは薄暗い伽藍の中で、真珠のように優しい光を放ち、神秘的な雰囲気醸し出していた。意外なほど小柄ながらも、神のようにまばゆいほどの存在感と神々しさ。

そう、阿修羅は神である。古代インド神話に登場する軍神で、最高神インドラに戦いを挑む激しい怒りの姿で表される。釈迦の教えに帰依して仏の守護神となつてからは、その激しさで仏教を守る役割を担うことになる。

しかし興福寺の阿修羅は三つの顔と六本の手を持つ異形で、かつ八頭身という見事なプロポーションで細身の美少年。憂いを含む表情は繊細で内向的であり、怒りや激しさは全く見られない。その背景には過去の罪障を内省し消滅させる「懺悔」の思想があつたものと考えられる。

その憂いを帯びた瞳が放つ光の深淵に臨むとき、阿修羅は千三百年の時を超えて永遠の祈りのように穏やかに観るものの心にともる。そして永遠の祈りのようなそれは、不思議なことに、今も私の心から離れることなく、一つの灯火として優しく照らし続けている。

茜風

movie

「田園に死す」

寺山修司監督 1974年作 102分



1972年、自分が二十歳のころ、時間があると映画館へ通っていました(ビデオもDVDもなかったんです)。当時どうしても見たかったのが、大島渚監督の「日本の夜と霧」(1960年安保闘争後、一週間で上映を打ち切られてしまった)。そして、アラン・レネ監督の「去年マリエンバートで」(幻想的な名作として評論家たちの評価が高かった。しかし、なかなかそのチャンスはなく、やっと見る事ができたときは難解なストーリーに疲れ果て、映画に感動したというより、何かをなし終えたという疲労感だけが残ったのを思い出します)。

その頃、はまっていたのは日本映画。日活のニューシネマ、東映の任侠やくざ映画、ATG(アートシアターギルド)系独立プロの制作費一千万円映画などなど。そのなかで、今回はATG作品「田園に死す」を紹介します。原作・脚本・監督を手がけた寺山修司は、詩・短歌・小説・演劇・映画などの分野で、常に前衛的な活動を続けましたが、1983年47才の若さで亡くなりました。「田園に死す」は、「書を捨てよ町へ出よう」に次ぐ自身二本目の監督作品。同名の自作歌集から題材をとり、青森恐山の風景・母との二人暮らし・サーカス・家出・捨てたはずの故郷をキーワードに、おどろおどろしいストーリーが展開されます。寺山修司の自伝的代表作。ぜひ一度ご覧ください。

(K)

梅花図石皿（筆者蔵）



図書館のつまらなさ

三田村 善衛

骨董や音楽のコレクターでもある筆者は、古書店も大好きな場所なので、出掛けるたびに頻りに足を運ぶのだった。

古書店のいいところは、まず気に入った本を自分のものに出来る点だろうか。その点、図書館はつまらない。さらに図書館においては、なるほど各ジャンルごとに分別して本が並べられてはいるが、あくまでも無造作に並んでいるだけで、例えば澁澤龍彦の横に毒薬や黒魔術関係の本が並んでいることは、まず考えられない。古書店での書棚の配置はしか

し、一冊の本に目が止まると、その横の本の内容が微妙にリンクして行って、まさに南方曼陀羅のように世界がとめどもなく広がっていくのが楽しい。たとえば荒俣宏と水木しげるの間には、とんでもない本が挟まっているのだ。小松和彦や田中優子などの著作は言うまでもない。ジャンルも妖怪から民俗学、熱帯紀行文、陰陽学、博物学と、かなりの分野の本がリンクしていく。思わずニヤリとして、店主の好みや癖までもが見えてくるのがコワイ。他人の本棚をのぞくような本もある。その人の趣味や人間性までもが丸見えになって、あれこそはまさにSMと呼ぶべきだろう。

見る方も見られる方も快感なのである。もっともアラマタ本の横に、杉浦日向子の『百物語』を並べている古書店もあった。



古本店（筆者著「福井県路上博物誌」巻より）

これなどはどう解釈したらよいものか、はたと困ってしまう。むしろ、悪趣味とでも呼ぶべきか。

格安旅行アクシデント発生

ニューヨークと云えば本場ミュージカルに感動し、メトロポリタン美術館でお勉強し、五番街のティファ



ニーでお買物・・・のはずであった。大停電中のケネディ空港に着いたものの、暗闇のロビーには人々が溢れていた。帰る手立ても見つからず不安ばかりが増していた。

助けてくれる人はいないか、探していたその時“地獄に仏”とばかり、日本人同士が固まっているのではないか！異国で思わぬトラブルに巻き込まれ、テレパシーを持つが如く、同胞を求め自然と集まる現象に感動してしまった。

法外な料金を吹っ掛けるタクシーとの交渉役は、NY滞在の経験があると話す商社マン。

どうにかホテルに戻れた頃には、すでに日が替わっていた。

朝になっても停電は復旧せず、至る所に武装警察官がいるのに、なぜか人々は陽気で楽しげに見えた。観光客の肩を抱き、写真に収まる警官までいて驚きである。

やっと昼頃復旧したと思えば、五番街もメトロポリタンも全て閉店でがっかり。地下鉄も止まったままで、移動はバスのみである。しかしこのバスが全部タダと聞けば、なんてアメリカは太っ腹！と感心した。

唯一ブロードウェイだけはどの劇場も再開され、日本で事前に映画で下見し、万全の思いで、本場ミュージカル「シカゴ」の観客となれたのである。隣に座った相方は、五分も持たずに高いびきとなり果て、がっかりであった。

エムワン

■ ■ ■ いまだてとしょかんだより ■ ■ ■

今立総合支所を北に100メートル程進むと、右手に「今立芸術館」と「今立ふれあいプラザ」の広い駐車場があります。

その駐車場の一番奥で、もみじ、どうだんつつじ、山茶花、クスノキなどの林の木洩れ日を浴びて佇んでいるのが今立図書館です。

建物の東側の田んぼでは畦をキジがウォーキングをし、サギが餌をついばんだり、昭和58年に建築されたレンガ模様の図書館は周囲の里山の風景に馴染んで、いかにも来館者を癒しているかのような印象を受けます。

今立といえば1500年もの古い伝統を持つ「越前和紙」が全国でも有名です。地元の小学生は学校で和紙の歴史を学ぶだけでなく、卒業時には自分で漉いた越前和紙の卒業証書を授与されて学び舎を巣立っているのです。

そんな紙漉き体験が出来る「パピルス館」から、越前和紙の紙祖神「川上御前」が祀られている岡太（おかもと）神社迄の一角が古くから紙漉きを生業としてきた「五箇」といわれている地域です。

ここでは、連綿と続く紙漉き職人の伝統とそれを支えてきた歴史ある町並みの佇まいを感じることができます。

「歩き疲れたな」と感じる頃に現れるのが、昔から町民に愛されている「熊野餅店」。「薄皮餅」や「ぼたもち」「あべかわ餅」等、正直な味が飽きない、お餅の老舗でしょうか。

このように県内でも有数の歴史と伝統のある今立地域をフランチャイズにする図書館なので、越前和紙をメインに地元との連携を密にして、地域の特性を活かした、今立地域でしか出来ない図書館づくりを地域の人と協働で進めていきたいと考えています。一度お越しくださいませ。

教えて下さい、鈴木先生

回答者：鈴木晴代京都ブックトークの会元代表

Q. ブックトークを組み立ててはみたものの、どうやって練習したらよいのかわかりません。目の前に、我が子なり同僚なりいてもらえるといいのですがなかなか30分も40分もついてもらうのは難しいものです。ひとりでできる練習方法とその時の留意点など教えてください。

A. 誰かに聞いてもらうのが一番ですが、それが難しければ、ご自身が二役しましょう。今は機械もたくさんあります。録音・録画して再生、チェックすればいいと思います。ブックトークは語りに近い...と講習でも申し上げたと思います。特に耳から聞いて物語を想像できるかは、初心で聞いて押える必要があります。

画像の方は、本の見え方、向きなどチェックしてください。

ご自身の姿勢も。子どもと本の間に入ってしまったかなどチェック。子どもたちは大抵、扇状に座ることが多いと思います。どの角度からも見える状況かどうか確かめる必要があります。

カメラは何台も用意できません。その場合、鏡を用意して下さい。できるなら、複数枚（ある程度の大きさのもの3枚あれば）子どもたちが座る位置・距離に配置して。（像の関係で遠くなります）鏡にいくつかを書いておくといいですよ。子どもたちの顔です。その目を見ながら実演してみてください。

日本の森は「誇りの森」

山下 裕己

世界最大の生き物は？ そう聞かれて、大抵の人はクジラを思い出すに違いない。体長三十メートル、重量百トンを超えるシロナガスクジラはとてつもなく巨大である。だが正しくは「樹木」と答えなければならぬ。

「セコイア」というスギ科の針葉樹である。米国のシエラネバダ山脈、その名も「セコイア国立公園」にあるジャイアント・セコイアは樹高八十三メートル、推定重量二千トン。人々は敬意を込めて「シャーマン将軍」と呼んでいる。

高さでは二〇〇六年、カリフォルニア州の「レッドウッド国立公園」で見つかったセコイアの百十五・六メートルに首位の座を譲ったが、將軍の体積は五十メートルに匹敵する巨木で、樹齢は二二〇〇年といわれている。

物言わぬセコイアではあるが、その年輪には幾星霜の歴史が刻まれている。一四九二年のコロンブス米大陸発見や一七六六年のアメリカ独立宣言公布なども、しっかりと記憶している。生命の起源は「母なる海」にあるというが、陸上の森林もまた偉大な生命を育んできた。

大陸の話はさすがにスケールが大きい。しかし島国・日本の森林も捨てたものじゃ

ない。ちなみに漢字で「森」と書いてみてください。活字では上の「木」は平べったく、下の二つの「木」は細長い。手書きであればもつと明確で、三つの「木」は少しずつ形が違うはずだ。

そう、日本の森にはいろんな「木」が生息している。単相林が多い諸外国と違って、広葉樹も照葉樹も針葉樹もある。越前市とも縁が深い養老孟司さんは、欧米で樹木の名前を覚えようと思えば数種類で事足りるが、日本ではとても覚えきれない と話している。

そこは生態系豊かな「誇りの森」である。鳥や哺乳類はそこでエサを確保しねぐらにする。養老さんが大好きなゾウムシなど多くの昆虫がうごめいている。人間たちも食料や生活資材の世話になる。

さて、周りを見渡せば、鎮守の森があり、里山がある。思い立ったら登山や山菜採りを楽しめる山もある。当たり前すぎて気付かないが、都会人がうらやむ恵みがある。

地球温暖化が危惧されCO2の削減が叫ばれる今、森林が果たす役割は大きい。森を守ることが、地球を守ること、人間が生かされること。そこまで大上段に構えなくても、森や山はそこにあるだけで美しい。春夏秋冬の「衣替え」を目にする楽しみは失いたくない。

福井新聞社論説主幹

旅の番外編ア・ラ・カル・ト

ギリシャ編

逃げない・追わない・走らない猫

もとより猫は自分の世界に自由に生きる動物だが、それをより実感した。ここはエーゲ海、イドラ島。その昔交易商人が財をなした島、今はリゾート地、芸術家に好まれていた。自動車、バイク乗り入れ禁止。透明度の高い海で十一月というのに心地よさそうに泳ぐ姿、足元まで透き通って見える。脱衣した衣服の側に猫、岩場の入口に猫、路肩に猫、テラスのいすの上でごろりとしている猫、キャットフードを口にしてしている猫、その横で欲しがりもせず座っているだけの猫、教会の入口で案内役のようにポーズを取っている猫。ついで鳴き声も聞かなかったし、走っている姿も見かけなかった。唯一私が「ミュー」「ミュー」とよんだらゆっくり足元へ寄ってきた。（よりかわいかったよ）人間とトラブル、猫同士のいさかい、全くないのだろう。ゆつたりと時間が流れる島の猫社会、平和なんだなあ。そして人々も（政治経済世界ではいろいろあるのだろうが）

三月瓢

*三月瓢さんは、図書館友の会の会員。現在、福井県生活学習館「ユーアイふくい」にて講座 朗読 声にのせよう、ことばと心を担当。他に図書ボランティア活動。

夢も希望も運ぶサンタ来る... のかな?

読者の声・読者の声・読者の声

YA倶楽部!



越前市図書館 5-11

YA倶楽部 通信

今月の読書コーナー

テーマ

~冬とその周辺~



平成24年12月号

冬 の陣

YAイベント

出陣!!

三題話

フルコース発売

2/13,14

雪の結晶 てき〜なぐい*

万華鏡 は いかに?



いつもとは違う

*冬を過ごしませんか?



雪の結晶を見たい方は、
万華鏡を見て、結晶を思い浮かべて
いっしょに作ってみては?

万華鏡の作り方は いかに? 形
など いろいろあります。

くゆい形紙、名前紙の、ていませよ★

*o+ x o ★ o x + + o + x * ★ + o 林

冬をテーマに俳句・短歌を集めました!
歴史上の有名な人の思いが分かるかも?
読み始めると、とまらない!!
意外にハマる一冊です!!!

今日のYA



YA会員募集

小説や漫画の読み手 大募集!!
本が読みたい

毎月第2日曜日の中央図書館にて
活動中!!

<お申し込み、メール> ↓ ↓

Mail: yanagiob@yahoo.co.jp

BBS ↓ ↓

<http://ishihar.bbs.to2.com/>

YAブログ <http://young-adult-osfb.sosha.net/71249560409>



編集後記

「会報は簡単だよと背を押され」 会報作りにチャレンジします
 エムワン

図書館友の会の一年も暮れようとしています。一番の思い出は、やはり古本市の準備でしょうか。ツラカッタ(ス) 読みたいんだけどお、離れてるのさあ、の1年間でした。早く、春が来ないかなあ...
 KAOS

未だ余裕のない活動参加ですが、毎回足が向くのは、案外楽しんでるのかも。スタッフが増えるといいのよね。≡ 友の会の存在意義を常に自問し、その答えを深め、崇高な会報を編集して行きたい。
 不施院

書に関する仲間と集うのは楽しいな。新しく一緒に楽しもうよ。今年の目標、百冊は辛うじてクリアかな。
 <エ

寄る年波と天然の境界が不透明になりつつある、長谷川です。
 長谷川 秀代

図書館の南側の総ガラス窓から眺める景色に、心が和みます。すてきなオアシススポットです。
 茜風

ひとつの言葉に哀しんだり、天にも昇ったりの一年でした。さて今年は何...?
 杏理子

寅年は世の中が荒れる？そう言えば、女房も息子も寅年。静かに時の流れに身をまかせか。
 ON

今年も寅年タイガースを応援したいけど、地元選手がたくさんいるカーブを応援します。.....
 錦鯉

図書館友の会でいっしょに活動しませんか？

「図書館をもっとみんなに利用してもらおう」

「こんな事業をしたら楽しいな」、
 そんな活動をいっしょにしませんか。

主な活動

年会報の発行・図書館の行事やイベントへの協力・参加など

入会方法 活動の趣旨に賛同して下さる方なら どなたでも入会できます。

入会金 500円 (*会の運営に充てさせていただきます。)

カウンターもしくは、友の会事務局員へ申し込んでください。

越前市図書館友の会

連絡先 越前市中央図書館

住所 915-0832 越前市高瀬2丁目7-24

電話 0778-22-0354 FAX 0778-21-2001

メール tomonokai@lib-city-echizen.jp